

口永良部島

概 況

火山性地震はやや少ない状態で経過しましたが、火山性微動が 11 日に発生するなど火山活動はやや活発な状態で推移しました。

噴煙活動の状況

監視カメラによる観測では、新岳・古岳からの噴気は観測されませんでした。

地震・微動活動の状況

火山性地震はやや少ない状態で経過し、月回数は 33 回(5 月：134 回)でした(図 1)。震源は、新岳直下付近でした(図 4)。

火山性微動は月回数が 1 回(5 月：2 回)で、継続時間 83 秒の微動が 11 日に発生しました(図 2、図 3)。

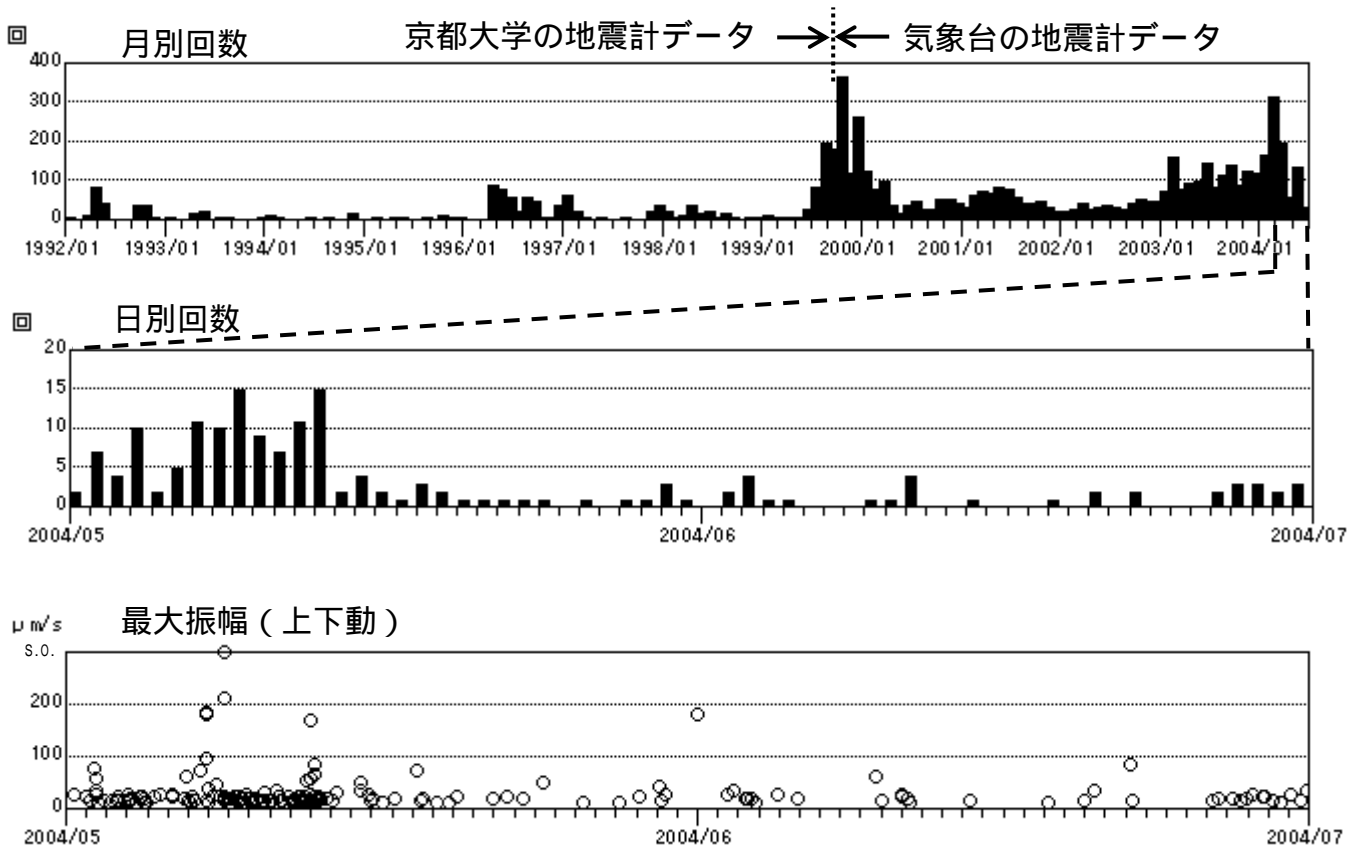


図 1 火山性地震活動経過図(1992 年 1 月 1 日 ~ 2004 年 6 月 30 日)

1999 年 9 月 12 日までは、京都大学が口永良部島観測点の地震計で計数したデータを利用

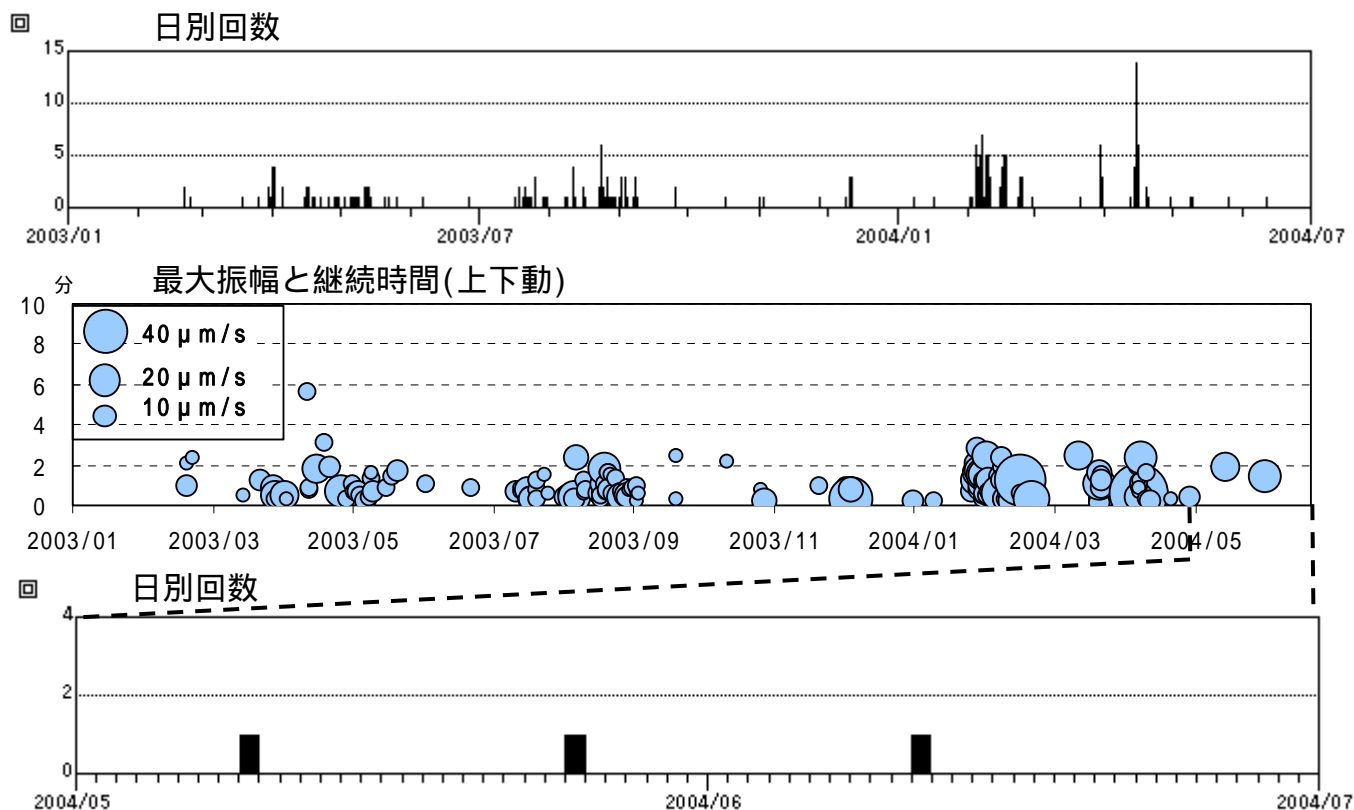


図2 火山性微動活動経過図(2003年1月1日~2004年6月30日)

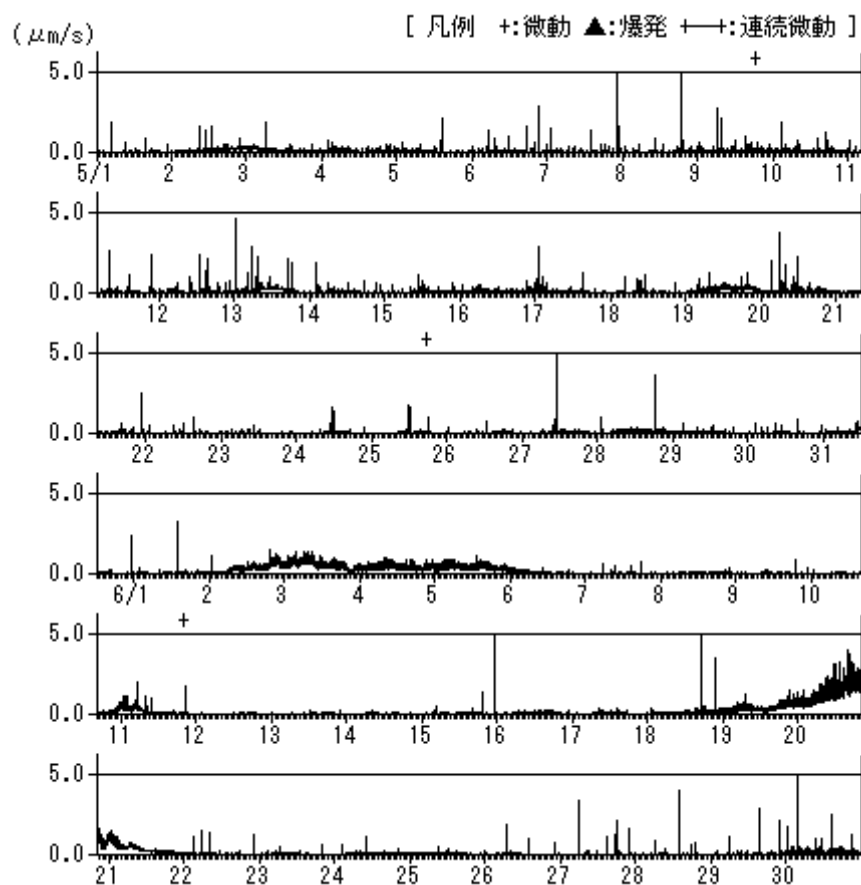


図3 1分間平均振幅の時間変化(上下動成分 2004年5月1日~6月30日)
6月2~6日、20~22日は悪天による

KUCHIERABUJIMA : 2004/06/01 - 2004/06/30

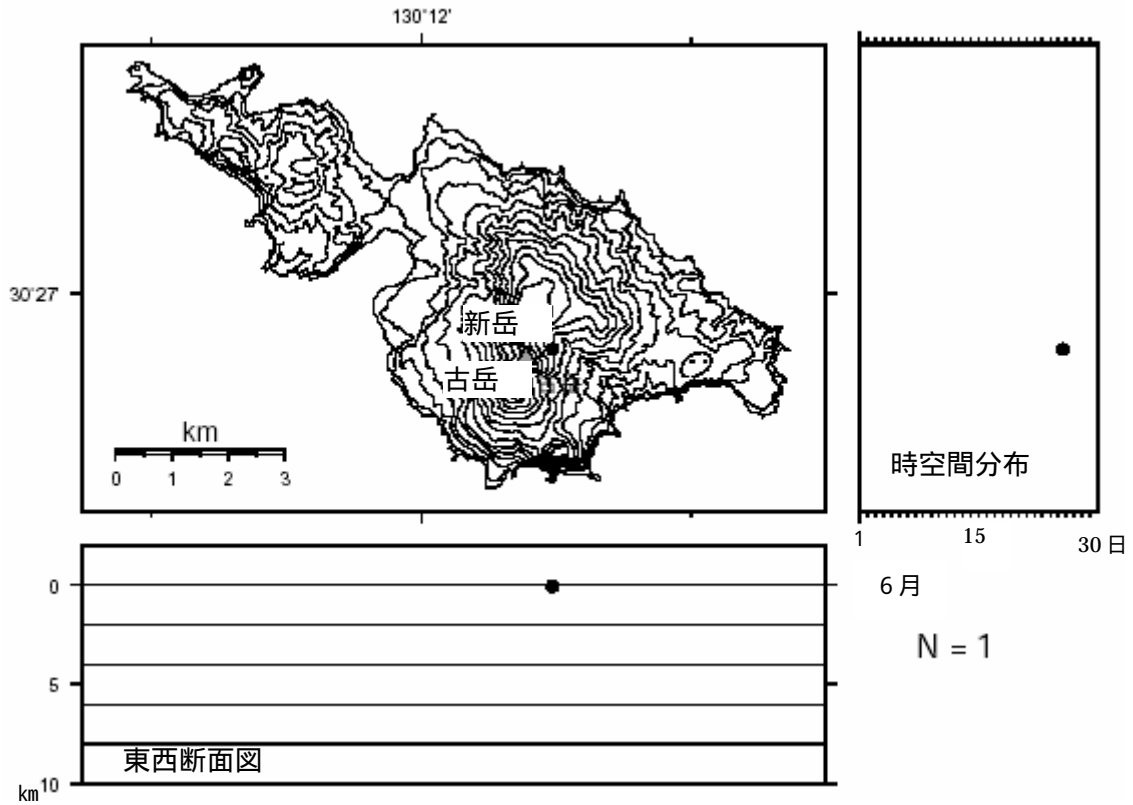


図4 火山性地震の震源分布図(2004年6月1～30日)

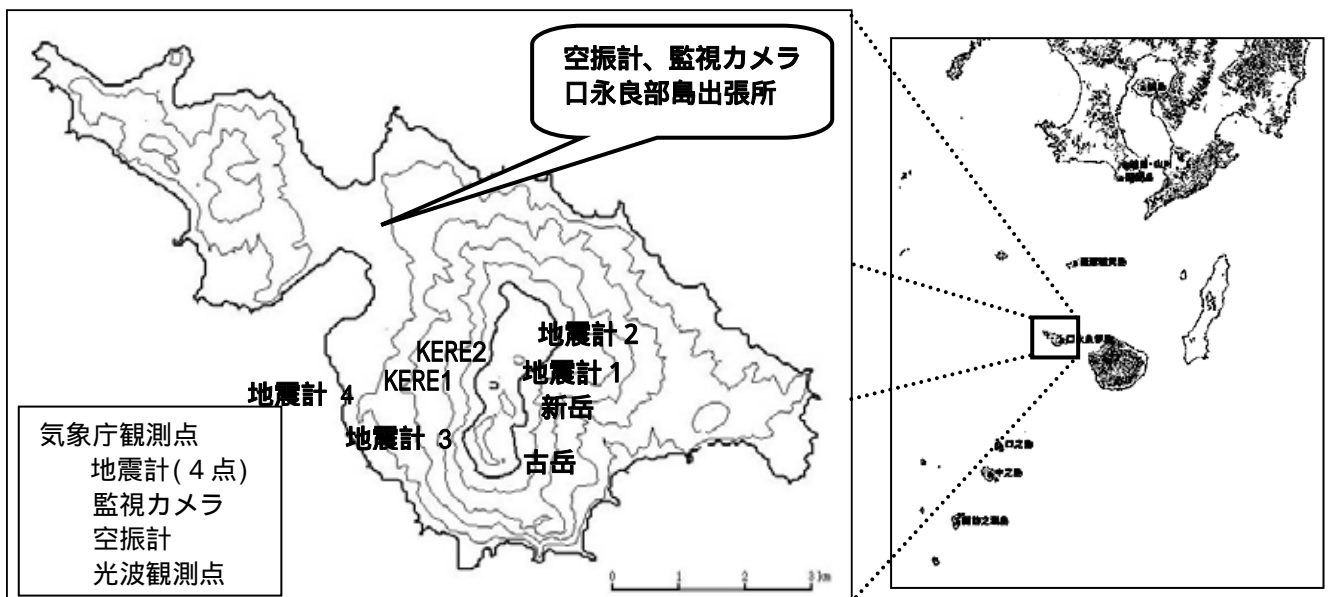


図5 観測点位置図